



急に涼しくなりましたね！
夏休みが終わりホッとしている方も多いかと思えます。
クリニックでは8月末からRSが大流行、RSは特効薬がなく、乳児は重症化する恐れがあるので要注意です。
※看護師長 池澤千恵子が人物紹介サイト「覚悟の瞬間」出演是非ご覧ください。

院長 池澤滋



感染症情報 7/29~8/25

病名	前回	今回
アデノウイルス	6	7 ↑
溶連菌感染症	15	7 ↓
感染性胃腸炎	22	47 ↑
水痘(水ぼうそう)	0	3 ↑
手足口	102	28 ↓
りんご病	7	2 ↓
RSウイルス	1	35 ↑
突発性発疹	14	13 ↓
おたふくかぜ	0	2 ↑
インフルエンザA	0	0 ー
ヘルパンギーナ	54	29 ↓
ヒトメタニューモ	0	0 -

LINE@

流行情報、休診のお知らせ、ワクチン入荷など、気になる情報をLINEでお届けします。ぜひ、お友だち登録をお願いします！

▶LINEのID



@rxi3847o

住所：合志市野々島2461 (ユーパレス弁天 北側)

TEL：096-242-6633

診療時間：9:00～ / 14:00～18:00

休診日：木曜・土曜午後・日曜祝

URL：http://www.ikezawa.org/

WEB予約：

http://ssc.doctorqube.com/ikezawa/



▲HP



▲WEB予約



今月は大好評だった15年前の通信をお届けします。HPからバックナンバーも是非ご覧ください！

我が家の事件簿 [ギョウチュウ編]



「ママ、ぎよ、ぎょうちゅうってなーに」

息子がまだ6歳くらいの時の話だ。台所でお茶碗を洗っている私の背中に、学校から帰ったばかりの息子が駆け寄ってきて、小さな声で話しかけた。「えっ?! ああ、蟻虫検査なんだね、なつかしー」息子が持っている小さな四角い袋は私の幼い頃から変わっていない。そうか、息子は蟻虫が分からないのだ。「うーん、何て言ったらいいのかなー。蟻虫はね、お腹にいて、朝になったらおしりから出てきて卵を産むんだって」手を止めることなく洗い物を続ける私。しかし、しばらくしても背後の気配は変わらない。どうした訳か、まるで長男はその場から動けなくなってしまったように立ちすくみ、何か一生懸命考えている様子・・・。「どうしたの?」すると、その時、生まれて初めて見た困惑した、いや、まさか、という恐怖に慄いた表情の息子。「ボ、ボクはね、たまごはうっ、うめないとおもう...」??? 一瞬、「は?」と思ったが、私の脳みそにやっとその意味が伝わった時、もう洗い物どころではなく、私はその場に身をくずし笑いをこらえた。息子は「朝になって卵を産む」という私の言葉に、きっとニワトリを想像したに違いなかった。息子はあれくらいの大きさの卵が自分のオシリから出てくることを想像したのだ。そして、そんな能力は自分には決して備わっていない、



と子どもながらに判断できたらしい。笑ってはいけない、でも耐えられない。私は声を殺して涙をながした。しかし台所にしゃがみこんだ私を心配するでもなく、ふり返ると長男はまだ、まばたきしながら真剣に遠くを見つめている。明日、あさっての二日間、卵の収穫をしなければならぬ、その不安に困惑した表情だ。しばらく、自分の中で笑いと戦い、何度も深呼吸した後...「あのね、蟻虫ってね、小さい小さい虫なのよ。お腹の中に住んで朝になったらウンチするところに出てきて卵を産むけど、目には見えないくらい小さいんだよ。」笑いをこらえ、やっとそんな説明をしたっけ...あれから十数年「その話、ウケるー、ウケるー!」と、今ではスネ毛の生えた足をバタつかせ、自分の消えた記憶に大爆笑する本人。奇想天外な息子の発言の数々や、日常に起こる、子ども達の突拍子もないエピソードは、そのつど家族に笑顔をはこび、私達を温めてきた。あの小さな袋には、可愛いオシリをブリッと出した、今にも卵を産み落とすかのような体勢のキューピーちゃんが、ニッコリ笑っている。語り継がれる我が家の歴史。こんな些細な出来事が子育て中の私達へのご褒美なのかも...



使う時の姿勢

※今は学校保健法が改正され蟻虫検査は行われていません。

文責 池澤千恵子